

いわて道路ボランティアクラブ 道路施設を点検

道路環境課



いわて道路ボランティアクラブは、県土整備部など土木行政関連部局で職務経験のあるOB約120名で組織された、道路に関するプロ集団です。道路管理者に対して、道路の路面や法面、構造物などの異常や不法占用などについての情報提供や、道路利用者の視点から安全で快適な道路についての提案など、県の道路行政を支援する活動を行っています。

いわて道路ボランティアクラブによる道路施設の点検は、平成16年度に始まり、毎年実施されています。今回は国体の総合開・閉会式の会場となる北上土木センター管内について、7月13日（水）、8班に分かれて総延長約260kmを徒歩により点検していただきました。

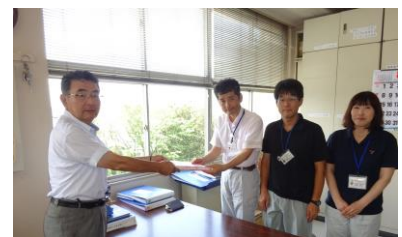


法面及び落石防護施設の点検



ガードレール損傷の指摘

長大法面や重要構造物、排水施設等を重点的に点検いただいた結果、落石防護柵のワイヤーの外れや排水施設異常、ガードレールの損傷など34箇所の異常が確認されました。この結果は、報告書として取りまとめられ、北上土木センターに報告されました。



北上土木センター所長が報告書を受領

